

人の輪をつなぎつむぐ レクリエーション



撮影：柳沢光行（潜水同好会）

自転車で世界をつなぐ輪 クリテリウム

10月26日（土）さいたまクリテリウム by ツールドフランスが開催されました。当日は会場となった新都心周辺には20万人が押し寄せ、まさに自転車が世界をつないだ一日でした。

目次

- ▶ p2 研修会報告
- ▶ p3 ねりんピック優勝報告
- ▶ p4 表彰報告
- さいたまクリテリウム by ツールドフランスを終えて

編集・発行

さいたま市レクリエーション協会

〒330-9588

さいたま市浦和区常盤 6-4-4

さいたま市スポーツ振興課内

さいたま市レクリエーション協会事務局

TEL 048-829-1731

FAX 048-829-1969

http://www.saitamashi-rec.net

実技研修会

日 時 平成 25 年 12 月 7 日 (土) 13 時 30 分～

場 所 浦和西体育館

レクリエーション協会加盟の種目を体験することにより加盟団体への理解を深めると共に、会員相互の親睦を図ることを目的に実技研修会を開催しました。

今年の実技研修は 72 名が参加してマグダーツ、ファミリーバドミントン、フォークダンスを体験していただきました。A、B 2 班に分かれて 40 分ずつ、マグダーツはレクリエーション指導者協議会の指導で、床上 1.5 m の壁面のダーツに 2.5 m の距離からマグネットの矢を当てる競技でしたが得点が 2 倍、3 倍のハイスコアになる的をねらって盛り上がりました。準加盟団体のファミリーバドミントンは、スポンジのボールにバドミントンの羽根を付けた軽いボールを使い、スマッシュ行為が禁止なので初心者でもラリーが続く、その名の通り幼児から高齢者まで楽しめるニュースポーツでした。最後に参加者全員で大きな輪になってフォークダンス連絡協議会の指導で「グランド・カーネル・スピン」他 2 曲を踊りました。ミクサーもある少し難しい曲もありましたが、男性も初体験の方も全員が楽しく踊り研修会を終了しました。3 団体の講師の皆さん有難うございました。

(事業委員長 矢部登美 (ウォークラリー協会))



ファミリーバドミントン



マグダーツ



フォークダンス



ねんりんピック優勝報告

平成 25 年 10 月 26 日～29 日に行われた『ねんりんピックよさこい高知 2013』において、協会会員が優勝されましたので、ご紹介します。

“ねんりんピックウォークラリー交流大会”で優勝しました！

「第26回ねんりんピックよさこい高知2013」が10月26日～29日まで高知県内各地で開催され、ウォークラリー交流大会は、27日に佐川町内特設コースで全国から36チームが参加、さいたま市から我々5人の「ヤングさくら草」チームが出場しました。

心配された台風27号の影響もなく秋晴れの気持ちいいお天気の中を江戸時代から文教の町として栄えた歴史を感じさせる町並みや自然、風土に触れ、町の人たちとの交流を楽しみながら、約6kmのコースを巡りました。

ゴール地点の佐川町総合文化センターグラウンドで昼食を摂った後、表彰式があり、1番目に優勝ゼッケン番号26番「さいたま市ヤングさくら草チーム」と発表された時は、「やった！」という喜びと満足感をメンバー5人で味わうことができ、表彰台で賞状、トロフィ、5人に金メダルと副賞の司牡丹純米大吟醸をいただき感激した次第です。また、高齢者賞をメンバーの太久保さんが受賞したことも今回の喜びを倍加してくれました。

今回優勝を実現できたのは、メンバーのチームワークが良かったことありますが、皆様の熱いご声援をいただいたお蔭と感謝しております。
(森田益行 記)



ねんりんピックよさこい高知 2013 に参加して

台風の過ぎ去った10月26日は朝から快晴の下、総合開会式が、高知県立春野総合運動公園で行なわれました。式典前の歓迎アトラクションに始まり、式典には常陸の宮様華子様御臨席のもと、全国から集まった約1万人の選手団による入場行進、県ごとに違うユニフォームで、県の特徴を表現したものを手にしての行進。

埼玉県は、浦和レッズの旗と参加記念の鳴呼を持っての行進でした。

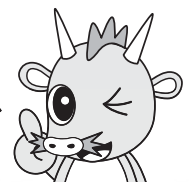
高知県内のねんりん世代アスリートによる炬火リレー。一段と大きな拍手の中、シンボルランナーに、間 寛平さんによる炬火点火。メインアトラクションでは、辰己琢郎さんが、坂本龍馬に扮しての司会で、会場も一段と盛り上り、本家よさこい、高知の豊かな自然、海、山、川を表現した遊技に感銘を受けました。式典後、各競技別に、開催地への移動が行われました。グラウンド・ゴルフは四万十市へ。

27日は安並運動公園四万十スタジアムでの交流大会。地元の小学生が横断幕を作って、さいたまの応援をしてくれました。他にも地元の幼稚園児、小、中、高、学生、県民の方々のメインアトラクションでの歓迎があり、すべての面で心のこもった「お・も・て・な・し」に感激しました。

このような大きな大会で、今迄にないスコアを出せたのも、すばらしい環境の中で良きチームメイト、監督そしてお世話して下さった皆様方と、お国言葉で祝福して下さった県民の皆様方へありがたい感謝の気持ちをのべたいと思います。
(柘植和子 記)



「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心とするゲートボールや卓球、テニスなどの各種スポーツ競技や美術展、音楽文化祭などの文化イベントや健康福祉機器展、子どもフェスティバルなど、あらゆる世代の人たちが楽しめる総合的な祭典です。



優勝されたみなさんおめでとうございます

表彰受賞者紹介

平成 25 年度埼玉県
レクリエーション協会
功労者表彰



柳澤光行
(潜水同好会)

●平成 25 年度さいたま市体育賞表彰

【体育功労者賞】

小山田 力	ソフトバレーボール連盟
松本 敏雄	家庭婦人バレーボール愛好会
小林 榮一	サイクリング連盟
添田 昌孝	ターゲットバードゴルフ協会
久保田千恵子	日本民踊連盟
小林 順	レクリエーション指導者協議会
須合 敦子	フォークダンス連絡協議会
白川 良子	グラウンド・ゴルフ協会
森田 浩史	ビーチボール協会
新井 幸芳	社交ダンス連盟
宮口 静枝	ペタンク連盟

【優秀選手賞】

ザ・イーズ 押田正枝、中務志のぶ、鳴海しほ香、萩原立子、本田美佐子、柳橋まゆら	インディアカ協会	第 9 回全日本インディアカトーナメント女子の部 3 位 第 36 回関東甲信越ブロック大会 in さいたま女子の部優勝
HAYATE 菊池貴志、小川光成、金澤脩、本田英聡、木村裕太、明田川恵介、深山貴史		第 9 回全日本インディアカトーナメント男子の部準優勝 第 36 回関東甲信越ブロック大会 in さいたま男子の部優勝
さいたま市ヤングさくら草 大久保慶子、池田節子、森田益行、森田鈴子、八島与志郎	ウォークラリー協会	第 26 回全国健康福祉祭こうち大会（ねんりんピックよさこい高知 2013）ウォークラリー優勝
上田忠彦	ターゲットバードゴルフ協会	第 22 回関東甲信越ブロックターゲット・バードゴルフ交流大会 in 埼玉 70 歳以上男子の部第 1 位
柘植和子	グラウンド・ゴルフ協会	第 26 回全国健康福祉祭こうち大会（ねんりんピックよさこい高知 2013）グラウンド・ゴルフ女性の部優勝
CRAG 阿部美香子、川島智恵子、川又和代、手塚ユカリ、中村恭子	ビーチボール協会	第 30 回全国ビーチボール競技大会女子 40 歳以上の部 3 位

「さいたまクリテリウム by ツール・ド・フランスを終えて」



理事長 渡邊 廣次（サイクリング連盟）

本大会を開催する旨の知らせが届いたのが 4 月。まさかあのツール・ド・フランスが日本に来るとは夢にも思いませんでした。

この大会が多く日本人が知ることになったのは 20 数年前、NHK が大会の放映した頃から自転車愛好家にはあこがれの大会となり、観戦ツアーも企画されました。

ツールド北海道、ツールド能登、ツールド沖縄、そしてツールド秩父が立ち上がったのはこの頃です。

ツールド秩父は埼玉県サイクリング協会の主導で始まりました。14 回続いた大会は諸般の事情で平成 14 年に終了しました。ピーク時で 3,000 人が秩父に集い、地域活性化の一環を担っていました。

ツールとは転戦を意味し、長いコースを走り続けます。他に山を上りとする山岳ツール、そして今回のように 3km 程度のコースを周回するクリテリウムの 3 種目があり、その総合点で優勝者が決まります。優勝者には「イエロージャージ」が贈られます。

今年のツール・ド・フランスは 100 回目の記念すべき大会で、総合優勝は「フルーム」、ポイント賞は「サガン」、それらの精鋭が新都心に来るなんて全く夢のようでした。

実行委員会が設立され何度かの会議、そして市民参加を主体としたボランティア部会も数回開催されて本大会を迎えました。

当日は雨のため市民体験走行は中止となりましたが、本レースは予定通り開催され 20 万人近くの人々が本場のレースに酔いしれました。

多くの市民がこの大会を通じ自転車レースの醍醐味を味わったことでしょう。

これを契機に自転車に対する意識が深まり自転車乗用におけるマナーアップや自転車環境の改善に繋がればと思う昨今です。